

大学名 電気通信大学

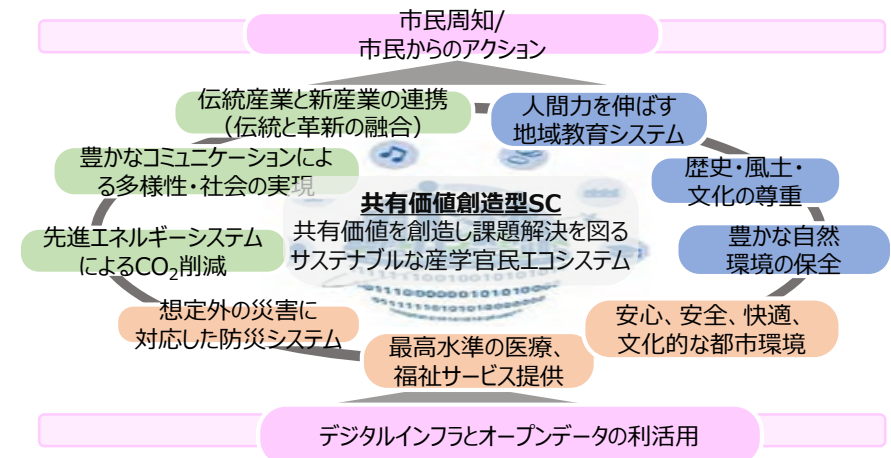
第64号 特集テーマ「地域の中核となる大学」

表題 共有価値創造型スマート社会の実現を目指す「調布スマートシティ協議会」の取り組み

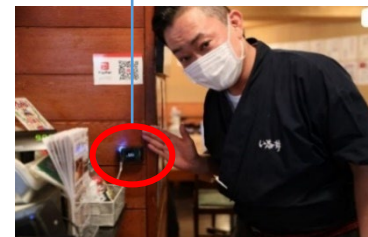
電気通信大学では、2021年6月に、調布市、アフラック生命保険(株)、特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム(CLIC)と協働で、「調布スマートシティ協議会」を設立し、現在京王電鉄(株)、東日本電信電話(株)、日本郵便(株)、鹿島建設(株)、(株)東京スタジアム、多摩信用金庫を加えた10団体で、調布市を起点とする多摩地域のさらなる発展に向けた活動を開始しています。

「調布スマートシティ協議会」では、産学官民が連携し共有価値を創造し、社会的課題の解決と経済的価値の創出を両立させながら持続的に進化し続ける“共有価値創造型スマート社会”の実現を目指しており、重点テーマは、「安心、安全、快適、文化的な都市環境」、「最高水準の医療、福祉サービスの提供」、「想定外の災害に対応した防災システム」です。

本学では協議会メンバーと連携して、様々な活動を実施しています。
例えば、安心、安全、快適な都市環境の実現を目指し、新型コロナウイルス感染予防対策として、調布駅前商店街やワクチン接種会場における換気効果の検証実験を通して、市民の行動変容を促進してきました。
また、調布市からの受託事業として市内モデル地区を対象に、多世代間のつながり創出と高齢者のフレイル予防を目指す「CDC運動」を調布市、アフラック生命保険(株)とともに実施中です。



小型CO2センサー



小型CO2センサーを設置した飲食店



CDC事業のパンフレット